

みんなで見つけた「えりも宝」

町民向けアンケートで集まったご意見を中心に、えりも町のすてきなところ「えりも宝」を紹介します。

えりも町文化財保存活用地域計画 目標 (仮)

昆布と共に歩んだ町の「えりも宝」を調べ・守り・未来へ繋ごう

◆ 昆布漁業を中心に、厳しい自然の中で発展してきた町ならではの漁撈文化を調査・発信し、地域の宝物として次世代へ継承するための取り組みを行います。

◆ 文化財・歴史、自然、景観、食文化、アイヌ文化などを「昆布目線」で再発見し、担い手である町民の誇りと自信につなげ、活気にあふれた町を目指します。

本事業は令和5年度文化庁芸術振興費補助金（地域文化財総合活用推進事業）の補助を受け実施しています。



ミズバショウ



うみやま祭り 海山幸フェスティバルでのえりも高校生による駒踊り



さんぼんいわ 三本岩



とせつぶだいみょうじん 当世武大明神の狛犬



えりも短角牛



しょうわ 昭和40年(1965年) 昆布漁



かんばいっばい ひろ 干場一杯に広げられた昆布



フノリ採り

豊かな海の恵み 豊富な海産物

ミツイシコンブ、サケ、ハタハタ、マダラ、スケソウダラ、ブリ、サバ、ハツカク、キンキ、マツカワ、ソウハチガレイ、サメガレイ、ババガレイ、アブラコ、ウニ、トウダイソブ、マツブ、エゾパイソブ、ホッキ、シロガイ、タラバガニ、オズワイガニ、ケガニ、ナマコ、ミズダコ、ヤナギダコ、マツモ、フノリ、クロバギンナンソウ、ポタンエビなど

日高山脈の自然

- ◆ えりも町最高峰 豊似岳 (1,105m)
- ◆ 多様な高山植物が生育するルチシ岳 (754m)
- ◆ えりも町の天然記念物・豊似湖のニホンザリガニ
- ◆ 国史跡・猿留山道
- ◆ 多様な動植物：クマゲラ、エゾライチョウ、ナキウサギ、イズナ、ケショウヤナギ、カキラン など
- ◆ 独特な地形・地質
- ◆ 日高山脈の稜線が海へ続く場所

えりも町全域でみられるすてきなもの

- ◆ 昆布漁
- ◆ 昆布の漁獲量、日高管内 No.1!
- ◆ “日高昆布の聖地” えりも
- ◆ 魚・貝・海藻…四季のうつろいと共に営まれる漁業
- ◆ 春のフノリ、夏の昆布、秋のハタハタ、冬のスケソウダラ・タラ漁の他、一年中行われるタコ漁など
- ◆ 先史時代のひとびとの暮らし
- ◆ 町内 67 か所の埋蔵文化財包蔵地
- ◆ 夏季に強く、冬季には特に強く吹きわたる風



サケの飯寿司



ハタハタの飯寿司



サバの飯寿司



サメガレイの飯寿司



ホッキの飯寿司



フキの粕漬け



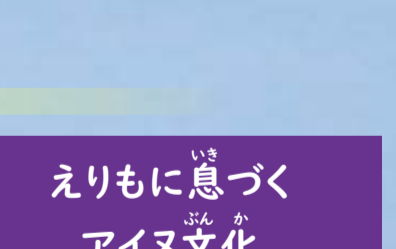
しょうわ 昭和40年(1965年) つけものコンクール 審査の様子



貝の化石(襟裳岬) 襟裳神社例大祭での小町会の踊り



しょうわ 昭和42年(1967年) 庶野さくら公園でのお花見



エゾオオサクラソウ

近浦地区

- ◆ 近浦稲荷神社
- ◆ ニカンベツ川 (かんらん岩・蛇紋岩でできた地質)

笛舞地区

- ◆ 笛舞稲荷神社
- ◆ タコばけ縄漁
- ◆ ウェンコタンチャシ跡

大和地区

- ◆ 南部家川
- ◆ えりも栽培漁業センター

新浜地区

- ◆ えりも神社
- ◆ 郷土資料館
- ◆ 三角山

本町地区

- ◆ 能入寺・法光寺・善生寺・大法寺・光明寺
- ◆ 国登録有形文化財・幌泉灯台記念塔
- ◆ 無形文化財・郷土芸能 えりも駒踊り

歌別地区

- ◆ 歌別稲荷神社
- ◆ 上歌別神社
- ◆ 歌別川と歌別川
- ◆ さけ・ます孵化場

東洋地区

- ◆ 歌露稲荷神社
- ◆ 油駒稲荷神社
- ◆ えりも短角牛
- ◆ 油駒チャンシ跡
- ◆ 三本岩

庶野地区

- ◆ 庶野稲荷神社
- ◆ シバナ・ウミミドリ
- ◆ 当世武大明神
- ◆ 庶野さくら公園
- ◆ どんどん岩
- ◆ タコばけ縄漁

目黒地区

- ◆ 目黒稲荷神社
- ◆ 水力発電設備跡
- ◆ 猿留川と猿留川
- ◆ さけ・ます孵化場
- ◆ 豊似湖
- ◆ 猿留山道

えりも岬地区

- ◆ 襟裳神社
- ◆ 迦葉院
- ◆ マンモス白歯化石発見の地
- ◆ 国有林緑化事業発祥の地
- ◆ 無形文化財・郷土芸能 襟裳神楽

百人浜

- ◆ 海岸林(カシワ・ミズナラ・ハンノキなど)
- ◆ シトウ(悲恋沼)
- ◆ ヘイケボタル(7月)

名勝・ピリカノカ

- ◆ オンネエンルム 襟裳岬
- ◆ 周氷河地形
- ◆ 海蝕崖
- ◆ 多様な動植物：海鳥、高山植物、ゼニガタアザラシ
- ◆ 襟裳岬灯台

えりも町の西側に沈む夕日

えりも町の東側海からのぼる朝日

昆布を中心とした漁業と厳しい自然が育んだ、えりも町の宝物「えりも宝」

漁場を支える豊かな自然

- ◆ とっても大事なミツイシコンブ(日高昆布)
- ◆ 大地と森の多様性が育む豊かな海
- ◆ 「北海道の背骨」日高山脈に形作られた陸と海
- ◆ マンモスが踏み歩いた大地
- ◆ 漁師さんの親友でありライバルでもある「風」

昆布で感じる季節 薫る景観

- ◆ 昆布のにおいと共にある景観
- ◆ 昆布漁船がひしめく夏干場に広がる昆布・風に揺れる昆布
- ◆ 沖をいりどる漁船と漁火
- ◆ 海・山・朝日・夕日を一望できる襟裳岬
- ◆ 凶漁の年の命綱「えりも短角牛」の放牧風景

重労働を支えるおいしい食

- ◆ 昆布漁の合間、青空の下、干場でみんな集まって食べる思い出の味「まかない料理」
- ◆ 昆布巻きから揚げ物まで、和洋多種多様な昆布料理
- ◆ 昭和33年(1958年)開始、開催58回! 「つけものコンクール」で磨かれ続けるえりも家庭の味

えりもの暮らしの足跡 文化財・歴史

- ◆ 海で生きる人々の命を守った「幌泉灯台記念塔」
- ◆ 人の手で失われた森を人の手で再生させた「百人浜の緑(緑化事業)」
- ◆ 厳しい環境の中で国を守るために作られた「猿留山道」・「塹壕跡」
- ◆ 入植者の心のよりどころ 寺院・神社

えりもに息づく アイヌ文化

- ◆ アイヌ民族の観察眼の鋭さを感じるアイヌ語地名
- ◆ 少なくとも300年は続く昆布漁の礎を築いたアイヌ民族
- ◆ “カムイの髪”として大切にされた、アイヌ民族の聖地・襟裳岬の昆布
- ◆ アイヌ民族の案内により開削された「猿留山道」

お問い合わせ先：えりも町郷土資料館ほろいずみ・水産の館 (2-2410)